

「卒業研究」の授業評価

数学教育講座・平田浩一

1. 授業の基本情報・概要

授業評価を実施した「卒業研究」は、学校教育教員養成課程学校教育実践コース数学教育専修の学生が3名、総合人間形成課程情報教育コースの学生が2名、合計5名を今年度は担当している。今回の授業評価は情報教育コース2名の学生に対する卒業研究を対象とした。

2. 授業での取り組み

今年度の卒業研究で取組んだ内容を紹介する。

情報教育コースの2名は、iPhoneとiPad用のアプリ開発を行なった。

開発したアプリは、俳句の街松山を訪れた俳句愛好者が、市内に点在する「句碑」巡りをしたいと思った時に、句碑に刻まれた俳句・作者・句碑の位置・写真などの情報をiPhoneやiPadで入手できるようにした「句碑探し」アプリである。GPSとも連携し、現在地と句碑の位置を地図上で確認できるようにし、さらに訪問者の感想や自分で撮った写真をアプリ内に保存できるようになっている。

3. 授業評価・授業研究の内容

授業評価アンケートはメールを使い7項目からなるアンケートを実施した。

7項目のアンケートのうち3項目は選択形式で、選択肢は4段階で、1. 強くそう思う(非常によい)、2. ややそう思う(よい)、3. あまりそう思わない(あまりよくない)、4. 全くそう思わない(よくない)とした。残り4項目は自由記述方式とした。アンケートの実施が卒業研究発表会終了3週間後となってしまったが、アンケート調査する旨をメールで知らせると、2名中2名の学生から回答が寄せられた。

3. 授業評価結果

選択形式の3項目のアンケートに対する回答は以下のものであった。A,Bは2名の学生、

数字は4段階の選択肢である。

	A	B
1. 研究のテーマの選択はよかったと思いますか	1	1
2. 研究テーマは将来役立つ内容でしたか	1	1
3. ゼミの準備に意欲的に取り組みましたか	1	1

【4.ゼミの準備のために時間外学習として毎週何時間くらい当てていましたか】

A: 6時間

B: 6時間

【5. 卒業研究でよかったと思う点、印象に残った点をあげてください】

A: 自分がやりたい内容の研究が行えたこと。

B: 卒業研究で開発していたアプリについて、使用者目線からの疑問点やアドバイスなどをいただけたこと。

【6. 卒業研究でよくなかったと思う点、改善すべきと思う点をあげてください】

A: 特になし。

B: 特になし

【7. その他、卒業研究を受けて気づいた点、感じた点、何かありましたらあげてください】

A: 特にありません。

B: 特になし

4. 「地域社会を核とした教育と研究のつながり」について

情報教育コースは情報科学に関する理論と情報通信技術 (ICT) を学び、社会で幅広く活躍できる人材を養成することを目的とするコースである。しかし、情報教育コースの学生が卒業研究の取組みで作成したアプリを一般の方々に使ってもらう機会は案外と少ない。今回2名の学生は共同して「句碑探し」アプリを作成した。そのアプリは俳句の街松山という地域文化との繋がりが深いも

のであった。そして、このアプリを実際に松山市を訪問される方々に使っていただきたいとの思いで製作を行った。まだ Apple 社の App Store には登録を行ってはいないが、近いうちにそのようにしたいと思っている。

5. 総括

今年度の卒業研究は情報教育コースの学生は 2 名であった。情報教育コースの最終学年でもあるため、2 名の学生が積極的に研究テーマに取り組んでくれたとことが嬉しかった。卒業研究としてはこれまで以上により成果を残すことができたのではないかと思っている。

今後も研究支援の進め方に工夫を凝らし、より良い卒業研究へとか以前をしていきたいと考えている。